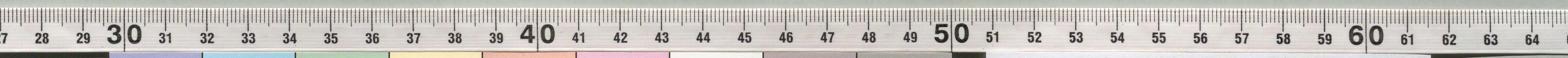


地租改正局總裁閣下ニ白ス曩ニ市書記官小山  
正武カ向波國改租ノ事ヲ奉行スルヤ本縣出張  
改正局五等出仕市川正寧曰シテ矯命ノ處斷ト  
ナシ國武ニ迫テ之ヲ改メシム國武急行徳島ニ  
到リ衆疑ヲ解キ群言ヲ破ル一日初始メテ其  
事ヲ結了スルヲ得タリ然レ氏此際招集スル所  
ノ地主總代五百有餘人縣官ヲ疑ヒ局員ヲ怨ミ  
輕重ヲ説キ厚薄ヲ論シ互ニ相是非レ亦政府ヲ  
信スル者ナク民志ノ散スルヤ寧ニ甚シ殆ト救  
拾ケ可ラス國武以為既往ノ紛紜ヲ淨除シ民ヲ  
シテ向フ所ヲ知ラシムルハ自ラ寧地ニ臨ミ親

シク之ヲ審査スルニ非レハ断然不可也ト遂ニ  
巡回審査ノ議ヲ發ス市川正寧執テ可カスト云  
氏國氏其所見ニ從フヲ得サル也尔後巡回二十  
有餘日民心漸ク定リ國武カ太ダ民カヲ重ニス  
ルヲ知ル而メ二百五十餘箇村ヲ經過シ其三十  
餘箇村ニ田畑名首中末三等合シテ百有餘箇所  
ヲ審査シ肥瘠如何利害如何知慮眼目ノ及フ所  
ヲ尽シテ精究討尋セサルナク以テ一般ノ模範  
元位トナシ自餘ノ各村各地ニ之ニ對照シ之ニ  
比準シ決シテ其誤トキヲ徵スルノ後積算得ル  
所ノ阿波國平均一及収獲田一石三斗四合餘  
畑一石四斗一合餘之ヲ市川等ノ所見ニ比ス  
レハ田畑各五升餘ヲ減セリ是則國武ガ政府ニ

侮セス人民ニ私セス又自ラ心ヲ欺カス公平至  
當輕重無偏ニシテ之カ一合一勺モ敢テ増減ス  
ル能ワスト確認スル者也市川正寧認メテ寛ニ  
失スル者トナシ固ク前議ヲ執テ可カスト云氏  
國氏亦断乎其所見ニ曲從シテ以テ自ラ欺クヲ  
得サル也夫怨言鼎沸ノ日忍フ可ラサルヲ忍シ  
テ以テ政府ノ紀綱ヲ全フシ而メ後十郡ヲ巡回  
シ民志ヲ既ニ散スルニ收拾シ過稅ヲ已ニ決ス  
ルニ減セントス鄙心以為ク政府ノ為メニ謀テ  
甚ク忠ナラサルニ非ス人民ノ為メニ謀テ太ク  
誠ナラサルニ非スト假令市川等ノ拒ム所トナ  
ルモ其目ヲ信シテ疑ハサル者寧ニ曠日ノ如キ  
有リ此ノ如クニシテ尚政府ノ為メニ諒トセラ



此ノル是則國武ガ職掌ニシテ責任然ルノ日也亦  
彼齟齬大體ニ通セザルノ徒ト升合ヲ較ヘ勺才  
ヲ争フテ喋カスルヲ欲セス唯  
閣下ノ明察高裁ヲ仰ク人ト不堪誠恐至懼之至

明治十三年五月

高知縣令渡邊國武

地租改正局總裁  
大隈重信閣下